

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します



村産大豆 100%豆腐 上手に切れるかな？

11月10日、田野畑小学校3年生は、学校菜園で種から育てた大豆を使い豆腐を作りました。普段口にする豆腐より少し固め？の手作り豆腐は、田野畑産大豆100%の価値ある豆腐になりました。(関連記事 14 ページ)

主な内容

- 子ども議会開催 2頁
- 光ケーブル敷設工事開始 12頁
- 村民文化展が開催される 13頁
- 村道冬期通行止区間について 18頁

未来へ
夢提言

もし、計画がないとしたらどう
ないのでしょうか。
備を増やしていく計画は
どにバリアフリーの設
アズビー、村役場な
これから先、学校や
ないかと感じました。

【質問】僕は、総合的な学習の時
間や国語などの学習を通して、バ
リアフリーというものを知りまし
た。誰にとっても、優しい環境や
施設について考えたとき、小学校
や中学校にスロープはあるのです
が、使いにくさがあったり、その
場所まで遠かったりします。また、
点字で示されている所がないこと
に気が付きました。

健康な人だけではなく、お年寄
りや障がいをもった人も、どんど
ん学校やアズビー、村役場に積極
的に行けるようになるためには、
そういった人たちのための

設備や環境が必要では
ないかと感じました。

これから先、学校や

アズビー、村役場な

どにバリアフリーの設

備を増やしていく計画は

ないのでしょうか。

もし、計画がないとしたらどう



田野畑小学校6年
鈴木 優太 議員

村施設をバリアフリーに

してでしょうか。

【村長】公共施設のバリアフリー
化についてですが、鈴木優太議員
が学習したとおり、お年寄りや障
がいをもった人たちが、どんど
ん社会に出て活躍や活動ができるよ
うな優しい環境を整えることは非
常に大切なことです。

小学校や中学校にあるスロープ
は勾配がゆるいため、お年寄りに
は歩きやすい設備ですが、その分
歩く距離が長くなるなどの難点も
あります。また、点字ブロックは
視覚の弱い人向けの設備ですが、
お年寄りには「段差」と感じる人
もいるかもしれません。

段差のないアズビー学習セン
ターは平成15年度に建築した建物
です。平成21年度に完成した中学
校にはエレベーターが設置されて
いるなど、村内の比較的新しい建
物はそれぞれバリアフリーを意識
した施設になっています。

一方で、役場庁舎は50年以上前
の昭和38年に建築された建物のた
め、バリアフリーにはなっていま
せん。少しずつ、必要な部分を改
修するなど対応しています。

これからの社会では、お年寄り
や障がいをもった人たちとの関わ
りがどんどん増えてくると思われ
ます。児童生徒の皆さんも、朝夕
の総合バスにお年寄りが乗ってき



子ども議会
開催

今と未来に
希望を込めて
夢を提言

村復興子ども議会は、11月5日、
村議会議場で開かれました。議会
には小学生3人、中学生6人の計
9人の子ども議員が登壇。村の姿
勢や問題点を質問し、夢などに
ついて提言を行いました。
事前に用意された児童・生徒の
質問とそれに対する村の回答を紹
介します。

たら席を譲ったり、困っている人
に手を貸してあげたりなどすれば、
より住みやすく、そして将来にわ
たつて住み続けたいとなる田野畑村
になっていくと思えますので、他
人を思いやれる大人になってほし
いと願っています。

住民が集う公園整備を



田野畑小学校6年
長尾 蒼翔 議員

【質問】僕の家族は、現在、黎明
台団地に住んでいます。新しい住
宅地でも環境もよく、住みやす
いのですが、遊ぶ場所がありません。
楽しく集まり、おしゃべりしたり、
散歩をしたりできる公園が欲しい
と思っています。

また、公園ができた際には、楽
しい遊具をたくさん設置してい
たいと思います。

子どもも大人も、お年寄りも、
みんなが集まれる公園を、村内に
造っていただきたいと思っています。
今後、田野畑村の中に、新し

く公園を造ったり、遊具を設置し
たりする計画はありますか。
もし、あるとすれば、どこに造
る予定ですか。

【村長】移転団地の中には、地域
の皆さんが休憩できるように、東
屋がある公園を造ったところで
が、遊具については、国からの応
援がもらえなかったため、造るこ
とができませんでした。

また、震災前まで鳥越駅があつ
た場所にふれあい公園を造る予定
ですが、残念ながらここにも遊具
を造ることができません。

しかしながら、現在の思惟大橋
公園付近に、国が新しい道路を造
る計画をしていますので、その際
に村民の皆さんの意見や希望を聞
きながら、遊具などを設置して、
皆さんが集まりやすい公園を造っ
ていきたいと考えています。

道の駅の今後の計画は



田野畑小学校6年
武井 柊詩朗 議員

【質問】現在、新しい道路を造つ

未来へ 夢提言

ていますが、この道路が完成すると、現在の道路とは違う場所を通ることになります。そうすると、現在ある道の駅の場所は道路が通っていないので、なくなると思うのですが、新しい道路が完成したら、どこに道の駅を造るのですか。

僕は、道の駅は田野畑村にとって必要だと思うので、是非造っていただきたいと思います。田野畑村のアピールにもなるし、憩いの場でもあると思うからです。

もし、今現在で、決まっているのであれば、その場所や道の駅内の施設などについて教えていただきたいです。

また、現在の道の駅が移設でなくなるとしたら、その跡地の利用は決まっていますか。

【村長】現在国によって新しい道路「三陸沿岸道路」の工事が行われていますが、この道路が「道の駅たのはた」を通過する計画となつているため、村では新たに道の駅を造り直そうと考えています。皆さんもドライブ休憩などで利用したことがあると思いますが、道の駅は地元の農作物や特産品を販売したり、観光案内をしたりと、産業振興や地域の魅力を発信する

には大事な施設です。そのため村では、どの場所に、どういう道の駅を整備すれば皆さんに喜んで利用してもらえるか産直施設組合、体験村たのはた、産業開発公社などの人たちと一緒に話し合いをしており、来年3月を目途に構想案をまとめたと思っています。

構想案をまとめる中で、村民の皆さんの意見を聞く機会を設けたと思いますので、より良い道の駅が整備できるよう、小中学生の皆さんも積極的に意見を出していただくようお願いいたします。

仮会社展開と村PR



田野畑中学校3年 吉塚 壮太 議員

【質問】今年度から本校では、「田野畑仮会社」を設立しました。これは、ふるさと田野畑村の良さを全国、そして世界に発信する活動を通じて、村の良さを再発見し、様々な問題の解決策について考え、無限の可能性を秘めている未来の田野畑村を支えていくための知識と能力を身につけるためです。

正午発のバスに乗り遅れると午後5時発のバスまで家に帰れません。先程お話をした正午に登校できるバスの増便に加えて、家に帰るための午後3時発のバスの増便も含めて増便していただくことはできないでしょうか。

【村長】まず、長期休業中のバスの運行についてですが、クラブ活動は生徒の皆さんの日々の努力と指導してくださる先生や保護者の皆さんの支援、協力により大きな成果を挙げていると聞いています。現在、村では長期休業中は、朝の登校と、お昼の帰宅、夕方の帰宅便を運行しています。

それぞれのクラブの事情により活動時間は異なりますので、村民の皆さんにも利用していただいている総合バスによる細かな対応は難しいですが、教育委員会や学校とも相談しながら、クラブ活動にどういった支援ができるか考えていきたいと思っています。

【質問】私たちは大会が近くなるので、午後6時まで部活動などを延長し学校から下校することがあります。その時間帯になると、辺りは暗くなり、特にこれからの時期は真っ暗になります。ところが、道路には外灯が少なく、バスを降りた後でも家にたどり着くまでの道が真っ暗で怖いのです。そこで、

そして、その売り上げを日本や世界で困っている人々の為に生かそうと考え活動しています。今後、田野畑村のPR活動を行う上でのアドバイスや、村で行われている活動のお手伝いをさせていただけるとのものがあれば教えていただきたいです。

また「田野畑仮会社」では、今後、学校のホームページなどの開設を行う予定なので、石原弘村長にもコメントなどをお願いしたいと思っております。活動にご協力していただくことは可能でしょうか。

【村長】まず「田野畑仮会社」は大変ユニークなネーミングであり、斬新な発想だと感心いたしました。田野畑村には全国や世界に誇れる素晴らしい自然景観や四季折々に収穫される生産物など地域資源がたくさんあります。

村では、これらの資源を活用した体験型観光やテレビ、雑誌などのメディアを通して観光PRを推進しています。また、物産においては、産業まつりや各種物産交流の開催などで村産品の情報発信に努めています。最近では村のホームページのリニューアルを行いました。

このような中であって、中学生通学路の安全のために周囲の外灯を増やしていただくことはできないでしょうか。

【村長】通学路の安全のために街灯を増やすことについては、村内に設置してある街灯のうち、中学校やアズビイなど公共施設周辺の街灯は、村で管理しています。が、地区内にある街灯は村が設置し電気料は自治会で負担していただいています。各自治会に管理してもらっている街灯は全村で約520基設置されています。

最近では、明るくて電気料が安いLED照明の街灯が普及してきていて、故障や老朽化した街灯は、順番にLED照明に交換するようにしています。器具の価格が高いため、少しずつしか交換することができません。

街灯を増やす時には、設置工事のお金を用意したり、設置場所によつては電気料を負担する自治会の同意も必要となってきますので、児童生徒の皆さんや地域住民の皆さん、自治会役員の方々と相談をしながら、取り組んでいきたいと考えています。

また、皆さんも携帯用のライトを準備したり、夜光反射材を身に着けたりするなど、ドライバークラスに発見されやすいよう自分の身を守る工夫をしてほしいと思います。

の皆さんが田野畑村のPR活動を展開していただいていることは、大変心強く、多様な年代の方々から幅広く情報発信してもらうことはとても効果的なことだと考えています。

また、活動を通じて、村の良さを再発見していくこと、村のさまざまな問題の解決策について考えること、さらには、将来の村を担っていくための知識や能力を身に付けていくという明確な目標をもって取り組んでいることは、中学生の皆さんが、これからの長い人生を生き抜く上で必ず役立つものと確信しています。

村では、このような素晴らしい活動を側面から支援していきたいと思っております。これまでも、小学校の修学旅行での観光PR活動に対しては、事前に出前講座を開催するなどアドバイスをしてきました。中学校においても必要に応じて、観光パンフをはじめとした各種資料の提供や出前講座などで支援していきます。

また、先般開催した産業まつりのアトラクションには小中学生からも出演してもらったなど、さまざまな分野で積極的に協力していただいていることに対し、感謝しています。

是非とも仮会社の活動をホー

なお、中学校から国道45号までの歩道に設置してある街灯ですが、蛍光灯の街灯7基をLED照明に交換するよう現在東北電力に依頼中です。冬休み前には終了したいと聞いていますので、もししばらくお待ち願います。



長期休業中の通学バスの運行改善の検討を約束

【質問】学校生活の楽しみの一つとして給食があります。その給食に、昔は「リクエスト給食」があり、とてもわくわくしました。自分たちで選んだ給食メニューを仲間と一緒に楽しく美味しく食べられる機会があれば、学級の雰囲気もさらに明るくなると思います。リクエスト給食を復活していただくことはできないでしょうか。

【教育長】学校給食は、調理や配送などの人件費や光熱水費は村や

村営バス運行に配慮を



田野畑中学校2年 田河原 篤史 議員

ホームページなどで情報発信していただきたいと思っています。村では今年度、村内全域で高速通信が可能となるよう超高速ブロードバンド基盤整備に着手する予定です。ICT（情報通信技術）はあらゆる分野で有効な手段です。皆さんも日々良質な情報に触れながらいろいろな価値観を磨いてほしいと思います。

ホームページには、私もコメントを寄せたいと思います。そして、皆さんが社会人となった時、仮会社ではなく、実際に会社を立ち上げて、村の発展、振興のため活躍していくことを期待しています。

【質問】私たちは、夏休みなどの長期休業中にも午後から登校することが多いです。そういったことから、長期休業中の村営バスの運行について、正午に学校に行けるバスを増設してほしいです。

また、午前の活動をした後にも、

未来へ
夢提言

県で負担し、食料費のみを給食費として保護者の皆さんや教職員の皆さんに負担していただいています。

消費税率の改定や円高などにより昨年度の給食費の額では足りなくなつたため、今年度から小学校で1食10円、中学校と教職員は20円給食費を引き上げましたが、それでもまだ足りていません。安全性に注意しながら、国産のなるべく安い食材を購入したり、生産者団体や友好都市などの交流団体から提供していたり、食料を活用するなどの工夫をしています。それでも果物やデザートは毎食は出せない状況です。

以前リクエスト給食を行っていたところは、主食や主菜のリクエストもですが、ケーキやフルーツタルトなどをデザートに付けてほしいというリクエストが多かつたようです。



質問に答える巖教育長

トの半面ほどの広さをアスファルトで舗装して、テニスの壁打ちや、ストリートバスケットができる程度の場所を作るなど、簡易な方法で整備できる方法がないか考えていきたいと思っています。

【質問】学校の情報室のパソコンが、一度に数台がインターネットに接続すると全く動かなくなり、授業や行事で使う上で困っています。通信速度を上げるような設備を整えていただけませんか。そして、夏場にプールの授業を行うためにも、村営プールを設営していただけないでしょうか。

【教育長】インターネットの通信速度を上げる対策についてですが、平成28年10月頃を目処に光ケーブルによる超高速ブロードバンドを、国の補助を受けて村で整備することになりましたので、来年の今頃からはストレスのない通信環境が利用できるようになる見込みです。問題はそれまでの間ですが、現在の通信回線の能力などの技術上の制約の中で、少しでもスピードを上げたり通信容量を多くしたりできないか検討していますが、なかなか決め手が見つけれない状況にあります。

最後に、村営プールの整備についてですが、村営プールとして整備するか、学校プールとして整備

今の給食費の額と食料の値段の関係の中では以前のようにデザートをつけることは難しいと思いますが、それでもリクエスト給食を実施できる方法がないか検討したいと思っています。



デザートなどのリクエストが求められた給食(写真は11月19日の給食)

運動環境の改善を要求



田野畑中学校3年 三上 翔希 議員

【質問】私たちは、アズビー体育館で部活動を行っています。2つ困ったことがあります。1つは、バスケットゴールです。バスケットのゴールの上げ下げに時間がかなり大変で、その分練習も早めに切り上げなければなりません。そこで、早く部活動ができるよう、

ゴールを自動で上げ下げ出来るようにできないでしょうか。

また、アズビー体育館の床は、雨が降ると、湿気が多すぎて滑ってしまい、思うように動かせません。怪我の防止のためにも湿気対策をお願いできないでしょうか。

【教育長】まず、アズビー体育館のバスケットゴールの自動化についてはですが、自分たちが使った施設の片づけを班分けするなどして、効率的にきちんと片づけることも大切な練習の一部だと思えます。限られた時間の中で充実した練習ができるように、皆さんも工夫して取り組んでみましょう。

次に、アズビー体育館の湿気対策についてはですが、ご指摘のことは、主に梅雨時期の雨天の日に見られる現象のようです。壁がコンクリート打ち放しのため湿度調整力が弱いせいかと思われます。当面は、部活の前後や活動中にモップ掛けして湿気をとるなどしながら利用していただきたいと考えております。

アズビー体育館は建築から30年が経過しており、今後も村民の皆さんにより長く使っていただくために、遠くない将来、大規模な改修を検討しなければならぬ時期が来るものと考えています。その際にご質問がありました2点につ

するか、いつ、どこに整備してどのように運営すれば少ない経費で有効に活用できるかなど検討しようとしていくところです。

エネルギー政策を問う



田野畑中学校1年 佐々木 美優 議員

【質問】中総体前などに、部活動で怪我をした場合、久慈市や宮古市に1時間かけて行くしかありません。安心して、運動するために、村の診療所に整形外科医やスポーツトレーナー、スポーツドクターの配置やC.T.Sキャンなどができる設備を整えてもらえないでしょうか。

【村長】村の診療所に整形外科医やスポーツトレーナー、スポーツドクターの配置およびC.T.Sキャンなどができる設備の整備についてはですが、現在診療所は、医師1名で診察に当たっています。内科をはじめ、ほとんどの病気に対応できる総合医の先生ですので、安心して受診することができます。質問にあった整形外科の専門の医

いても対策を検討してみたいと考えています。アズビー体育館の使用について皆さんにお願いがあります。アズビー体育館は村民みんなの施設ですので、使用後の後片付けなどについての決まりを守って、みんなが気持ちよく使えるように注意してほしいと思います。



バスケットゴールのチェーンでの上げ下げは約10分要します

【質問】私たちがもっと外で遊ぶために、アズビー周辺にストリートバスケットやテニスなどができるような複合スポーツセンターのようなものをつくってもらえないでしょうか。

【教育長】屋外複合スポーツセンターの整備については、大規模な施設を作るのではなく、例えばテニスコートやバスケットコートを整備しました。また、個人住宅向けには、ソーラーシステムや薪ストーブなどの再生可能エネルギーを導入する場合に、補助金を出しています。さらに、今年度は、役場や公民館、防災センターなどの18の公共施設にソーラー・風力兼用の外灯を33基整備中です。

これからも、クリーンエネルギー導入に向けた事業を推進していきたいと考えています。

【質問】現在、村の人口が年々減少しています。その理由として、村内に外部からの人が入居したいと思う、住宅が無いからであるという理由もあると思います。そこで、村外からの受け入れのために、移住者が住みたいと思うようなおしゃやかな村営住宅や村営アパートなどを増やした方が良くはないかと思えますがいかがでしょうか。

【村長】移住者向けのおしゃやかな村営住宅については、村の人口は年々減少してきて、人口減少対策は村の重要な課題です。現在の村の人口は約3600人ですが、国の研究機関である「国立社会保障・人口問題研究所」は、25年後の2040年の村の人口は2000人近くにまで減少すると推計しています。

未来へ 夢提言

村ではこの減少を抑えるためにさまざまな対策を行っていますが、村への移住者を増やすこともその1つです。

村営住宅や村営アパートは建設費用が高額なため、一度にたくさん建設することは難しいですが、村外からの移住者を増やすために、少しずつ居住環境の整備ができるよう頑張っていきたいと思っています。

安定した収入の確保を



田野畑中学校3年 平坂 誠至 議員

【質問】将来の私たちが田野畑を支えられるように、そして、安心して村に戻れるように安定した収入の得られる職場を確保してほしいのですが、いかがでしょうか。

【村長】まず、安定した収入の得られる職場の確保については、村内にはさまざまな企業がありますが、村では、より多くの働く場所を確保するため、村外の企業に対し、田野畑村で事業を営んでも

らうよう誘致活動を行っています。しかし、交通の便や立地条件の悪さなどを理由に、なかなか新たな企業誘致が進んでいないのが現状です。

一方で、今後インターネット環境が整備されていくと、パソコンで情報のやり取りができるようになり、田野畑村にオフィスを構えることも可能な職種が増えていきますので、そういった職種もターゲットに入れて、誘致活動を進めていきたいと考えています。

【質問】少子化や村民増加対策として、野田村や久慈市、宮古市のように未婚の男女を募って婚活を村で開いてはどうかと思いますが可能でしょうか。

【村長】少子化や村民増加対策としての婚活については、村の中で生まれ育った子供たちが、この村に残り、結婚し、元氣な子供に恵まれ、温かな家庭を築いていくことは、末永い村の未来にとっても大切なことだと思っています。

村の方々の声を聞くと、結婚する前の、お付き合いを始めるきっかけや、若者が交流する出会いの場所やそのチャンスが少ないとのことでした。

「婚活」という名称ではありませんでしたが、村では、結婚に適しますが、そのような施設は人口が多い大都市の近くにあるのが特徴です。

逆に、大都市では、美しく雄大な自然、青い空や澄んだ空気、波の音や野鳥の声に囲まれた生活を送ることができません。

都会に住む人たちが、わざわざ遠い岩手や田野畑村に来てくれるのは、日本一の海岸美といわれる北山崎や鶴の巣断崖、遊べる野山や海辺など、都会の人たちが普段は味わうことのない幸せな場所がここにあるからです。

私たちは、都会の人たちが旅に出たいという気持ちを大切に受けとめて、美味しい料理や優しい笑顔でもてなし、この村にまたいつか来たい、この村の良さを他の人にも紹介したいという、田野畑ファンを増やすことが、とても大切だと考えています。

宿泊施設については、津波でいくつもの旅館や民宿が流されてしまいました。このところの観光シーズンには、ホテルなどの宿泊予約が取れないとの声も聞いています。しかし、冬の期間は観光客が極端に少なくなります。まずは、一年中お客様に来てもらえる魅力ある観光地づくりを進めて行く中で、次の対策を考えていきたいと思っています。

した年代の方々に、まずは、同世代の出会いや交流の場をつくるために、今年の7月に村のスポーツ施設や地元の意味を楽しむ「若者の出会いの場」イベントを開催し、参加した方々からとても喜んでもらいました。このような取り組みは、とても大切だと考えていますので、これからも続けていきたいと思っています。

【質問】将来の私たちが田野畑を支えられるように、そして、安心して村に戻れるように田野畑村のかかえる借金や公債を減少させ、将来安心して村で暮らせる環境をつくらせてほしいですが可能でしょうか。

【村長】村の抱える公債、いわゆる「借金」の残高については、一般の家庭では家を建てたり車を買ったりする時に銀行からお金を借りてローンを組むと思いますが、村も新たな施設や道路などを整備する時に、国からお金を借りて、何年かに分割して返済する制度があり、この借金を「公債」と呼んでいます。

例えば、中学校を建て替えるために全部で約12億円のお金がかかりましたが、国や県からの補助金をもらっても足りなかった3億6870万円を25年の分割払いで借金しました。

【質問】現在の商店の状況ではやはり生活で不便なことが多く、結論として村外に出て商品を購入することがほとんどです。村の活性化のためにも複合型のショッピングができる店舗や早朝から深夜まで営業しているお店や書店があれば、村民も村内で買い物しやすいかなと思います。例えば田野畑村のお店の売り上げを増やし、村の活性化を行うためにも、ホットペッパーのようなクーポン券集があるといいと思います。それが難しいのであれば、村の広報にクーポン券をつける事は出来ると思います。いかがでしょうか。

関連して、例えば他市町村では、観光施設や産直、土産物屋などが複合的に集まった道の駅がつくられています。観光客を増加させるためにも、田野畑村でもつくった方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

【村長】複合型店舗については、さまざまなお店が集約されているショッピングセンターは、品ぞろえが豊富で、1か所ですいろいろな買い物ができて便利ですが、一定のエリア内で多くの集客が見込まれる都市部近郊に立地される傾向があるため、田野畑村への立地は難しいと考えています。クーポン券は、商品やサービス



身近な校舎も分割払いの公債で建てられました

しかし、この借金は、返済する時に国からの助成があるという、地理的な条件の悪い市町村だけが利用できる特別な制度で借金したものです。3億6870万円の借金を返済していく中で、国から約2億4100万円の助成があり、実質的な村の負担額は約1億2700万円、借金額の約35%だけとなっています。

平成26年度末現在、村の借金残高は46億6870万円ですが、後で助成してもらえる額を差し引いた実質的な借金残高は11億9800万円です。村民一人あたりにすると約33万円、県内33市町村のうち少ない方から9番目となっています。

また、ここ数十年は、借金を返

の宣伝活動の一環として、お店の方が自ら値引き分などを負担して発行されています。

村の広報紙は、村政情報をお知らせするのが一番の目的ですので、クーポン券を広報紙につけるのは難しいです。

ただし、お店の方々からクーポン券を発行したいという要望があれば、希望するお店を取りまとめ、各世帯に一齐に配布する方法は考えられますので、田野畑村商工会とも話し合ってみたいと思います。

次に道の駅についてですが、先ほど武井議員の質問でもお答えしたとおり、現在道の駅の再整備に向けて検討作業を進めています。村内の方にとって魅力的な道の駅を整備していきたいと考えていますので、小中学生の皆さんもぜひ意見などを寄せていただきたいと思います。

【質問】宮城県仙台市のように、嵐やSEXY ZONE、AKB48、三代目J SOUL BROTHERSやEXILEなどのコンサートを誘致すれば、観光客も増えると思いますが、そういった取り組みはできないのでしょうか。

【村長】コンサートの誘致については、9月に仙台市で行われた人気グループのコンサートには、

観光客増の施策を提案



田野畑中学校2年 佐々木 涼羽 議員

【質問】観光客を増やすためにも、今までにない観光地やディズニーランドのような娯楽施設を増やしてみてもいいでしょうか。また、観光客受け入れのため、羅賀荘以外のコテージ型や民宿的な宿泊施設の増設が必要ではないかと思えますがいかがでしょうか。

【村長】娯楽施設については、遊園地やテーマパークはとても楽しい施設で、たくさんの方が集ま

田野畑小 校内マラソン大会

村一番の健脚を懸けて熱い戦い

11月7日、田野畑小学校（大芦教子校長、児童160人）では、各学年で村一番の健脚を懸けた校内マラソン大会が開催されました。コースは小学校グラウンドをスタート地点に菅窪地区を往復する勾配の厳しい心臓破りの難コース。グラウンドや沿道には、たくさん保護者や地域の人が応援に駆け付け、選手を温かい声援で後押ししました。

6年女子で優勝した熊谷藍楓さんは「最後のマラソン大会で新記録を出すことができてうれしかったです」と勝利を喜びました。



スタートから猛スピードで5・6年生男子レースを引っ張った熊谷哲平くん(6年)

1・2年生女子レース。スタートの緊張感からみんなの顔が引き締まりました



■各学年1位の選手

※敬称略「新」マークは新記録

学年	距離	男子			女子		
		氏名	記録	所属スポ少	氏名	記録	所属スポ少
1年	約1km	工藤 諭良	6分11秒	—	佐藤 舞優	6分26秒	—
2年		川畑 凰弥	5分27秒新	—	川畑 夏妃	5分32秒	ミニバス
3年	約2km	関口 誠	11分25秒	—	大澤 典佳	10分22秒新	ミニバス
4年		有谷 拓翔	10分57秒	野 球	佐藤まつり	10分41秒新	ミニバス
5年	約3km	川畑 颯羽	12分46秒	ミニバス	佐藤 愛華	12分48秒新	ミニバス
6年		熊谷 哲平	11分26秒	—	熊谷 藍楓	12分46秒新	ミニバス



保護者の熱い応援が選手を後押し



あさがお組は練習の成果を存分に発揮しました

若桐保育園でも 園児がマラソン頑張る

若桐保育園（鈴木康子園長、園児49人）では、10月30日、恒例のマラソン大会を開催。園庭では多くの保護者がチビっ子の力走に声援を送りました。

マラソン大会には0歳児から年長まで年齢ごとに別れて40人が参加し、全力で園庭を走りました。あさがお組（年長）で優勝した角館樹くん（5）は「思惟大橋公園でお父さんとたくさん練習したので1位になりました。とても嬉しいです」と金メダルをもらってガッツポーズを決めました。

子ども議会

未来へ 夢提言

その願いがかなったという話

ほしい」と手紙を書き、

一方で、東日本大震災以降、大槌町の小学生が、歌手のEXILE Eさんに「学校に来て

れないことから、実現は難しいと考えています。

これら課題を解決することができれば、岩手県内でもコンサートを開催することはできると思いますが、岩手県をはじめ、本村においても、受け入れ態勢を整えられないことから、実現は難しいと課題となります。

また、歌手の方々や所属する事務所、コンサートを運営する会社など、多くの関係者から開催の承諾を得る必要がありますが、単にスケジュールの調整だけではなく、コンサートに掛かるお金や安全上の対策も課題となります。

4日間で延べ20万人ものファンが仙台市に訪れたと、テレビや新聞等で報道されています。

このようなコンサートの誘致は観光客などを呼び込むにはたいへん効果的な取り組みだと思います。しかしながら、岩手県においては、同じような規模の人数を受け入れられるコンサート施設はなく、遠くから訪れるファンのための宿泊施設にも対応しきれないことが想定されます。

議長が円滑に議事進行

今回の子ども議会のすべての議事進行は、議長を務めた田野畑中学校3年の工藤永致さんが行いました。



田野畑中学校3年 工藤永致 議長

出席議員の確認、議会成立の宣言の後、通告順に各議員に質問を求めました。それぞれの質問の後には村長に答弁を求め、追加の質問がないか議員に諮りました。

発言を促すタイミングなど絶妙で、滞りなく議事進行。小学生を含めた質問者の質問時間は1人4分以内、答弁を含めても10分以内など、厳しい制約がある中、当初の予定通り約2時間で議会を閉会しました。



静粛に傍聴する児童、生徒たち



議場は普段の議会同様に緊張感が漂いました



議会終了後、緊張がほぐれ小中学生の顔に戻りました



生徒の質問に答える石原村長

超高速インターネット基盤整備事業

平成28年10月
供用開始予定

光ケーブル敷設工事開始

★光ケーブルの敷設工事について
12月から超高速インターネットサービスの利用環境を整えるための光ケーブル敷設工事が村内全域で始まります。

工事期間中は、現地調査、光ケーブルの電柱への添架工事、電柱の建柱工事などで、工事担当者が私有地に立ち入ることがありますので、理解と協力をお願いします。

また、工事車両の出入りや安全確保のための交通規制などが行われます。村民の皆さんにはご不便をお掛けしますが、交通誘導員の指示に従って安全通行をお願いします。

★土地使用・土地の上空通過の同意にご協力下さい

光ケーブル敷設のために所有地に建柱してある電柱にケーブルを共架します。

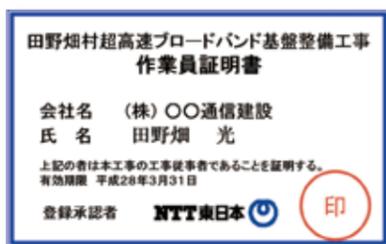
また、電柱の位置関係により土地の上空をケーブルが通過する場合や、新たに電柱を建柱する場合があります。

柱の利用、土地の利用についての同意が必要となる場合があります。村職員または工事担当者が説明に伺いますので、合意事項を理解のうえ、承諾に協力をお願いします。

★ご注意ください
この工事で村民の皆さんに直接代金を請求することはありません。身に覚えのない請求や疑わしい勧誘などがあつた場合は、村または警察へ連絡してください。

なお、工事担当者が自宅に訪問する場合は、必ず身分証明書を持参しますので確認してください。

◆問い合わせ先：政策推進課
(☎) 34-2111 内線64



身分証明書（見本）

通信契約のトラブルに注意

光ケーブル敷設により、来年10月から光回線を利用したサービスの提供が予定されています。

NTT東日本の光回線事業は、NTT東日本以外の事業者も扱える光回線の卸売サービスとなるため、たくさんの方の事業者が光サービスの提供で競争することから、電話などによる営業活動が活発になることが懸念されます。

特にプロバイダ契約で、現在利用しているプロバイダの光回線への契約更新だと思いき、電話によるやりとりで契約したところ、別のプロバイダと判明。現在契約しているプロバイダに契約解約の手数を支払うこととなるケースが見られています。通信サービスの契約は特定商取引法の適用のためクーリング・オフはできません。契約には細心の注意が必要です。

消費者問題の問い合わせ先：

消費者ホットライン(☎188)
役場生活環境課(☎34-2111 内線24)

小学生対象にスマホ教室開催



想定される危険についてドラマなどで紹介

田野畑小学校6年生は、11月13日、NTTドコモの協力により「スマホ・ケータイ安全教室」を開催しました。

教室では、スマホやタブレットの普及により、生活が便利になる一方、写真をブログへ掲載し拡散すると、取り返しが付かなくなる危険性があること、知らない人のメールなどのやりとりは、相手が嘘をついている可能性があることを考慮しなければならぬことなどを学びました。

参加した相模優花さんは「アプリやSNSを使った文字だけの友達とのやりとりは、相手が読んでどう思うかなどしつかり考えてコミュニケーションをとろうと思いました」と語りました。

笑顔満祭く届け！輝け！我らの誇りく

中学校で文化祭開催

「石楠花は…咲いた」を10年ぶりリメイク上演



①郷土の先人になりきり熱演する生徒たち



②演劇にも登場する上山一久さん(右から2番目)も生徒の熱演を讃えました

田野畑中(関向正俊校長、生徒96人)の文化祭は10月25日、「笑顔満祭く届け！輝け！我らの誇りく」をテーマに同校で開催されました。

全校で取り組んだ演劇「石楠花は…咲いた」では、第二次世界大戦後、北山崎の国立公園化へ情熱を傾ける青木松太郎氏と村人たちの物語を全校生徒が熱演。陸中海岸国立公園指定60周年の節目の今年、同校では10年ぶりのリメイク上演となりました。

劇中に登場する上山一久さん(83)「北山」は「史実に沿った内容で、20代の頃の自分を思い出しました。当時、北山は交通環境が悪く、車が入ってこられませんでした。北山崎が国立公園に指定されれば車が往来出来る道路が整備されるだろうと思いい国立公園の指定に奮闘したことが思い出されます」と感想を述べました。

生徒全員が役者やスタッフを担当し、村の礎を築いてきた先人たちの功績に思いを馳せ、郷土の誇りを後世に語り継ぐきっかけとなる感動的な舞台に、会場は感動に包まれました。

第42回村民文化展

第42回村民文化展が10月31日から11月3日まで、アズビイ楽習センターで開催されました。小中学生の絵画や工作、書道などのほか、一般から写真や油絵、手芸など幅広いジャンルの芸術作品が展示されました。

沼袋地区で神奈川県「横濱陶芸倶楽部」を講師に招き開催した陶芸教室の参加者49人1団体が出品した縄文土器は、大胆な造形と重厚感、焼き色が来場者の目を惹き寄せました。

会場に友達と訪れた佐藤愛華さん(小5)は「どの作品も制作者の思いやチャレンジ精神が詰まっています。感動しました。縄文土器など、普段見られない作品や友達の作品なども多く見られ楽しかったです」と作品を見つめました。

今年の入場者数は昨年と比較して25人減の350人、出品数は261点少ない607点。

知人や友人、家族が制作した芸術作品を見て楽しめるのは村民文化展ならではの醍醐味。来年は皆さんも作品の制作展示に挑戦してみたいかがでしょうか。



小中学生の作品、一般の人の作品とも秀作多数



縄文土器や油絵を熱心に見つめる来場者



緑色のお米は、田んぼアートでふっかちゃんを再現した古代米



田野畑小学校の全校児童で感謝の気持ちを伝えました

深谷市の川本南小から米が届く

友好都市の埼玉県深谷市の川本南小学校から、11月11日、小学5年生が育てたお米が田野畑小学校に届けられました。

今回お米を届けてくれたのは川本南小学校の学校応援団の中村泰典さん(66)ら5人。

中村さんは「震災直後、村で食料に困った時があり、それを機に川本南小で育てた米を届けるようになって今年で5年目。徐々に復興が進んでいると感じました。復興には皆さんの力が必要です。ぜひ頑張ってください」と生徒にエールを送りました。

園児が煙体験などで防災学ぶ

11月6日、田野畑村中央防災センターでたのはた児童館(中里民子園長、園児44人)の園児が防災センターを見学し、防火服の着用体験や消防車の乗車体験など、普段は体験することができない貴重な体験しました。

煙体験では、煙が充満して視界の悪くなった部屋を歩き、煙の怖さを実感。参加した相模奏汰くん(6)は「煙体験が本物の煙のようで凄かった。火事を起こさないように注意します」と決意。みんなで火遊びをしないことなどを誓い合いました。



真剣な表情で煙が充満した部屋から避難する子どもたち

21世紀学園に富士ソフト(株)が協力

新たのはた21世紀学園では、11月7日に「遊ぼう!学ぼう!ロボット教室」、8日に「パソコン何でも相談教室」をアズビィ学習センターで開催し、たくさんの親子連れなどでにぎわいました。

今回の企画は、村に応援職員を派遣している富士ソフト(株)の有志や富士ソフト(株)のボランティア団体NPO法人IT工房ひのきの協力により実施。ロボット教室では、ロボット相撲を開催し、子どもたちが熱いバトルを繰り広げました。



リモコン操作でロボット相撲。年齢や体格差も関係ない戦いを楽しみました



初めて豆腐作りを体験する児童は興味津々

村産大豆100%の豆腐を手作り

11月11日、田野畑小学校3年生は、自分たちで育てた大豆を使った豆腐作りを体験しました。大豆は学校農園で児童自らが5月に種をまき、育て、収穫した田野畑産。

煮た呉汁を木製の搾り器で搾り、豆乳ににがり投入。豆腐と液体に分離すると、児童から歓声が沸きました。

松頭妃鞠ちゃん(9)は「にがりを入れてもなかなか固まらず少し焦りました。いつも食べる豆腐より歯ごたえがあり、おいしく出来て大満足です。」と笑顔を見せました。

道の駅たのはたへAED贈呈

10月27日、道の駅たのはたへ一般社団法人日本道路建設業協会東北支部からAED1台が贈呈されました。

この日は、石井孝道東北支部長が産直プラザ思惟大橋を訪れ、施設内にAEDを設置し、従業員にAEDの使い方の講習会などを行いました。

寄贈を受けた産直プラザ思惟大橋の三浦さち子さんは「AEDは使わないことが一番良いのですが、何かの時はあれば安心ですね」と操作方法を熱心に学びました。



日本道路建設業協会東北支部の石井支部長(中央)から副村長(右)へAEDが贈呈

キッズ☆ジオマスターがクイズに奮闘

11月8日、羅賀のしおさい交流センターなどで三陸ジオパークの日本ジオパーク認定2周年を記念し、クイズ番組「第3回三陸キッズ☆ジオマスター」のテレビ収録が行われました。

参加したのは野田村を除く、八戸市から山田町までの9市町村の小学生2人1組の9チーム。本村からは田野畑小6年生の鈴木海くん(9)と鈴木優太くん(9)がクイズに挑み、地質や津波石、モシ竜の超難問に挑戦。結果は岩泉町チームが優勝しました。



田野畑小チーム(右下)は善戦しましたが、惜しくも優勝を逃しました

お知らせ

人口と世帯	火災
11月1日現在()は前月比	(10月21日～11月20日)
人口 3,633人(-3)	火災の【今月】0件
男 1,809人(-1)	発生件数【今年】2件
女 1,824人(-2)	無火災の連続記録
世帯 1,445世帯(±0)	(11月20日現在) 182日

人口減少なんてぶっとばせ! ～今がチャンスだ!～

田野畑村地方創生講演会



平成 27 年

日時 12月12日(土) 13:30～15:30

会場 アズビィ楽習センター **入場無料**

講師 内閣官房 地域活性化伝道師

しむら しょういち
志村 尚一氏



有限会社ウィルビー代表取締役・株式会社兼吉代表取締役・創団ぜん
とようようくらみ代表
昭和29年花巻市生まれ。昭和61年、創団「ぜんとようようくらみ」結成。
平成6年、総合企画会社「(有)ウィルビー」設立。平成20～21年、
農林水産省農山漁村地域力発展支援モデル事業アドバイザー。平成25
年、農林水産省6次産業化ボランティアスランナー。

現在、全国各地で「地域活性化」「農林水産業」「福祉・健康」「教育」「企業活性化」「男女共同参画」「リーダー育成」
など幅広いテーマで年間100回以上の講演・研修を行う。
西和賀町第三セクターゼネラルマネージャーとして、地域再生・企業活性化を指導・実践により再生中。
秋田県内自治体のゼネラルマネージャーとして就任予定。
※東日本大震災被災地復興支援で、田野畑村にも6回来村

◆主催：田野畑村 ◆共催：田野畑村まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会

知 ナースの皆さんは届け出を

看護師などの人材確保の促進に関する法律が改正され、看護師免許保持者の届出制度が10月1日より施行され、看護師などの免許を持ち、その仕事に就いていない人は県のナースセンターへ届け出ることになりました。

◆届出対象者…保健師、助産師、看護師、准看護師免許保持者で、その仕事に就いていない人

◆届出の内容・方法
お持ちのスマートフォン、パソコンから届出システム「とどけるん」(<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>)に必須項目を入力。または専用の届出書を岩手県ナースセンターへ郵送かFAXを送信
◆届け出・問い合わせ先…岩手ナースセンター(公益社団法人岩手県看護協会内)(☎019-662-8213 FAX019-662-9550)

知 観光船初日の出号を運航

(株)陸中たのはたでは、北山崎断崖クルーズ観光船の初日の出号を運航します。

◆運航日…1月1日(金)～3日(日)
◆出航時間…1日は午前6時30分と午前10時
2日と3日は午前10時
◆料金…大人1,460円
小人 730円
◆問い合わせ先…ホテル羅賀荘(☎33-2611)



初日の出を拝んで、新年を祝いましょう

知 園芸推進座談会を開催

新岩手農業協同組合では、農業収入を目的とした野菜・花き・わさびなどの園芸品目栽培に興味がある人を対象に、野菜などの栽培品目の紹介や意見交換を目的とした座談会を開催します。

事前申し込みは必要ありませんので、興味のある人は、お気軽に参加してください。

◆開催日…12月7日(月)
◆場所・時間
①明戸地区公民館・午前10時～正午
②村役場第1会議室・午後1時～3時
③尾肝要地区公民館・午後3時30分～5時30分
◆問い合わせ先…新岩手農業協同組合宮古営農経済センター(☎0193-69-3220)

知 田野畑漁協事務所が移転



田野畑村漁業協同組合の事務所が旧羅賀小学校跡地に移転し、11月から営業を始めています。

◆電話番号
・総務指導課：☎33-2311
・業務課購買：☎33-2218
・業務課販売：☎33-2315
・岩手県信漁連小本田野畑支店 田野畑村出張店：☎33-2312



知 ノロウィルス食中毒に注意

今年、岩手県では、ノロウィルスを原因にした食中毒が7件発生しています。今年は新たな遺伝子のノロウィルスの存在が明らかになり大流行の発生が心配されています。

ノロウィルスの予防には次のことに気をつけましょう。
①加熱が必要な食品は、中心部までしっかり加熱する
②食品取扱者や調理器具などからの二次汚染を防止する
③トイレの後、調理する時、食事の前、外出から帰った時は手洗いを徹底し、清潔なタオルなどで拭くようにする
④おうと物や糞便などの汚物は適切に処理する
◆問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

知 歯科診療所の夜間診療延長

村歯科診療所の夜間診療を平成28年3月まで延長します。

◆夜間診療日…12月から平成28年3月までの第2・4水曜日(予約制)
◆夜間診療時間…午後5時30分～8時30分
◆予約・問い合わせ先…歯科診療所(☎33-3100)

知 国有林森林計画住民懇談会開催

三陸北部森林管理署では、平成29年4月1日から5年間の「久慈・閉伊川流域の国有林の森林計画等」の策定にあたり、地域の皆さんから森林づくりなどに関する意見をうかがう住民懇談会を開催します。

◆日時…平成28年1月21日(木) 午後1時30分～4時
◆場所…久慈グランドホテル
◆対象…宮古・久慈地域の住民
◆申込期限…12月17日(木)
◆問い合わせ先…三陸北部森林管理署(☎0193-62-6448)

知 エイズ検査の受付時間拡大

宮古保健所では12月1日の「世界エイズデー」キャンペーンの一環としてエイズ検査の受付時間を拡大します。今回は予約なしで受けることができ、当日のうちに結果を確認できます。

検査は無料、匿名で受けることができます。
◆日時…12月8日(火) 午後2時～7時
◆場所…宮古保健所(宮古市五月町1-20)
◆問い合わせ先…宮古保健所(☎0193-64-2218)

知 子育て世帯給付金申請延長

消費税率引上げの影響等を踏まえ、児童手当を受給している人を対象に「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。

支給対象となる可能性のある人には、6月下旬に申請書を送付しています。公務員の方は勤め先から申請書が配布されます。申請受付を12月25日(金)まで延長しますので、まだ申請していない人は早めに申請してください。

子育て世帯臨時特例給付金について、詳しくは広報たのはた7月号の20ページをご覧ください。

◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114(内線23))

募 およこの食育教室を開催

肥満や生活習慣病を予防するためには、バランスを考えて食べる習慣を子どもの時から身に付けることが大切です。村食生活改善推進員さんと一緒に料理を作って、食育について考え、親子で体験してみましょう。

◆日時…12月24日(木)午前10時～午後1時
◆場所…保健センター
◆対象…年長児・小学生の親子
◆申込期限…12月14日(月)
◆参加費…無料
◆持参する物…エプロン・三角巾
◆申し込み・問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

知 三鉄お絵かき列車と展示会

三陸鉄道が沿岸12市町村の幼稚園・保育園児を対象に募集した絵画を展示したお絵かき列車の運行および展示会を開催します。

お絵かき列車
◆運行期間…平成28年1月9日(土)～1月18日(月)
◆展示電車…運行時刻は三陸鉄道に問い合わせください

絵画展示
◆日時…12月19日(土)～平成28年1月11日(月)、午前8時～午後5時
◆展示場所…島越駅
◆問い合わせ先…三陸鉄道旅客サービス課(☎0193-63-2611)

おめでた おくやみ

〔平成27年10月届け出分〕
 (一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
 嘉藤 奏祐(そうすけ)くん
 徳寿・真子 巢 合

■安らかに ～お悔やみ～
 上 村 幸 子 (91) 机
 佐々木 ス ワ (94) 巢 合
 根木 地 喜 一 (81) 明 戸

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(11月15日現在)

寄付金総額	4094万7760円 659件 (村内123件、県内160件、県外376件)
取り崩し額	615万7000円
基金残額 (運用益を含む)	3484万1775円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111内線15)までご連絡ください。

先月号の広報プレゼントの色紙は当選者への発送をもって発表に代えさせていただきます。♪♪♪
 なお、今月の広報クイズはお休みいたします。



役立ちカレンダー

期間：12月1日(火)～1月3日(日)

月 日	行 事	場 所	時 間	問 い 合 せ 先
12月1日(火)	アズビ健康スポーツ教室「ソフトテニス教室」	アズビ体育館(8日、15日、22日も開催)	19:00～21:00	教育委員会(内線22)
1日(火)	冬の交通事故防止県民運動 田野畑村キャンペーン	道の駅たのはた駐車場	14:00～15:00	総務課(内線17)
2日(水)	アズビ健康スポーツ教室「バトミントン教室」	アズビ体育館(9日、16日も開催)	20:00～21:00	教育委員会(内線22)
2日(水)	特設人権相談	役場第一会議室	10:00～15:00	生活環境課(内線24)
4日(金)	アズビ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビ体育館(11日、18日も開催)	19:00～21:00	教育委員会(内線22)
6日(日)	第3回バドミントン交流会	アズビ体育館	10:00～13:00	教育委員会(内線22)
7日(月)	アズビ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビ体育館(14日も開催)	20:00～21:00	教育委員会(内線22)
16日(水)	幼児健診	健診センター	12:30～15:30	保健福祉課(☎33-3102内線55)
19日(土)	たのはたつわんぱくランド 手作りキャンダルづくり	アズビ楽習センター	10:00～12:00	教育委員会(内線11)
25日(金)	出稼ぎ健康診断	村診療所	11:00～11:30	生活環境課(内線25)
25日(金)	固定資産税3期 国民健康保険税7期 納期限			税務会計課(内線34)
	後期高齢者医療保険料6期 介護保険料7期 納期限			生活環境課(内線21)
1月1日(金)～3日(日)	北山崎断崖クルーズ観光船 初日の出号	観光船発着所(鳥越)	1日 1便 6:30～ 2便 10:00～ 2日、3日 1便 10:00～	ホテル羅賓荘(☎33-2611)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

12月17日(木)
 ◆はまぎくコース(羅賀・机・北山方面)

場 所	時 間
拓洋台団地	9:05～9:20
グループホームつくえ付近	9:50～10:05
北山地区総合センター	10:15～10:30

12月17日(木)
 ◆たんぼぼコース(切牛方面)

場 所	時 間
黎明台団地集会所付近	11:30～11:45

12月18日(金)
 ◆おきなくさコース(沼袋・甲地方面)

場 所	時 間
産直プラザ尾肝要	9:15～9:30
リアス倶楽部付近	9:40～10:00
甲地公民館	10:10～10:20

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)



北山崎の自然を守る会の会員の皆さん

北山地区でシロバナシヤクナゲの植樹会
 11月2日、北山崎園地内で北山崎の自然を守る会(平坂忠三会長、会員14人)がシロバナシヤクナゲの植樹会を実施しました。植樹したのは同地区の藤原慶助さん(79)が寄付した樹齢約40年のシロバナシヤクナゲ25本。藤原さんは「松苗の栽培していた父から植栽の技術を習い、シロバナシヤクナゲを種から育てられるようになりまし。寄贈した木はここで拾った種から育てたシヤクナゲなので元の場所へ戻した気持ちです」と植樹作業に汗を流しました。シロバナシヤクナゲの開花時期は来年の6月頃です。

除雪しない(通行止め)路線と区間

路線名	区間など
村道館石線	国道取付から岩泉町堺まで
明戸北山線	明戸～村道机西線交差点 北山集落終点部空き家前～普代村境
久春内線	村道明戸北山線交差点～県道交差点(全線)
白坂線	切牛簡易水道浄水場～猿山(県道)
切牛線	漁協倉庫～菅原神社
田代線	田代の沢砂防ダム～田代年々峠(岩泉町境)
萩牛線	村道沼袋田代線交差点～村道田代萩牛線交差点(全線)
長内沢線	下閉伊生コン～上流
高森線	長嶺線～テレビ塔(全線)
北山港線	県道～北山漁港(全線)
大平線	佐々木ミワさん宅～佐々木仁さん宅
松前沢線	村道鉄山線交差点～農免農道浜岩泉線交差点
釜谷ノ沢線	旧県道(全線)
和野線	三上哲雄さん宅～三上昭雄さん宅
田野畑明戸線	ビニールハウス棟群末端部～坂下達男さん宅
鳥越浜岩泉線	村道鉄山線交差点～村道浜岩泉北線交差点
沼袋三沢線	佐々木安吉さん宅～三沢峠(岩泉町境)
大芦北線	国道45号交差点～農免農道浜岩泉線(全線)
切牛真木沢線	切牛～真木沢(砂利道区間)
真木沢港線	切牛真木沢線～真木沢漁港(全線)
農免農道浜岩泉線	浜岩泉専用水道配水池～和山吉治さん宅

冬を迎え、降雪による道路の除雪作業が本格化します。また、冬期間利用の少ない路線などの除雪を見送り、積雪時から3月下旬まで通行止めとします(左表)。
 次のことに理解と協力をお願いします。
 ①深夜や早朝の作業に理解をお願いします。
 ②各家庭の玄関前の除雪に協力ください

③道路への雪出しは危険なのでやめてください
 ④路上駐車は除雪の妨げになるのでやめてください
 ⑤路面状況に十分注意して走行してください

◆問い合わせ先：建設第一課(☎34-2113内線522)、岩泉土木センター(☎22-13116)、三陸国道事務所久慈維持出張所(☎0194-5312790)

ご理解・ご協力をお願いします



冬の交通事故防止 県民運動展開中

これからの季節は、積雪や凍結などで路面状況が悪化します。ゆとりを持った行動を心がけ、交通事故を防ぎましょう。
 また、年末年始は飲酒の機会が増えます。飲酒運転は絶対にやめましょう。
 県内では高齢者の交通死亡事故が多発しています。特に、早朝や夕暮れ時に歩行中の高齢者が事故にあうケースと高齢ドライバーの交通事故が増えています。事故にあわないよう、事故を起こさないよう注意しましょう。

■スローガン…「外出は 明るい笑顔と 反射材」
 ■運動期間…12月1日(火)～10日(日)
 ■運動の重点
 ①冬道用タイヤ装着の徹底
 ②飲酒運転の根絶
 ③スピードダウンの徹底
 ④反射材用品等の活用推進

■問い合わせ先…総務課(☎34-2111 内線17)

道合勇一さん交通安全功労者 岩手県知事表彰を受賞

11月4日、盛岡グランドホテルで開催された、正しい交通ルールを守る運動県民大会で、道合勇一さん(76)が交通安全功労者県知事表彰を受賞しました。道合さんは、平成元年から県交通安全協会下閉伊北支部役員を務め、退任後も田野畑駐在所連絡協議会長として、街頭での交通安全活動を継続。今回、交通安全思想の普及啓発に尽力、貢献した功績が認められ受賞となりました。

石原村長に受賞の報告を行った道合さん(右)

わが家の アイドル



佐々木 ^{せりか} 芹穂ちゃん (2歳0カ月)
賢さん・麻緒さん=甲地=

お母さんからのひとこと
果物と納豆、ウサギさんがお気に入り。
遊ぶときもごんぼほる時も一生懸命！
兄姉のまねをしたり、音楽に合わせて
踊ったり元気いっぱいです。
兄姉と仲良く、活発で優しい女の子
に育ってほしいな。



山根 ^{しき} 志稀くん (1歳11カ月)
成一さん・裕子さん=羅賀=

お母さんからのひとこと
ラーメンと納豆、戦隊ヒーローのニ
ンニンジャーが大好き。
とにかく人懐っこく、いつもニコニ
コあいさつしています(笑)。
周りに流されず、いつも笑顔で元気
に育ってね！

村長石原弘の
村長コラム 14



一日一善行 一人一人の思いで花笑む村に！
自分たちが生活する周辺が清々しい気分を感じるこ
とがあります、それは、見えないところで、他人のために
汗を流している人が居るからです。まして、自らも地域
の清掃活動を行い、一雨降った後の景色は格別で、掃き
掃除・洗い清めた玄関に一輪の花を愛でた時に感じる爽
やかな気分になったりしませんか。
そのような清々しい気分になったことがあります。寒
くなる前のことですが、黎明台団地の公園周辺の草取り
に精を出している麗しき女性お二人を見かけ、声を掛け
たら、その女性たちは「少しでも綺麗にして生活したい」
「花を植えて気持ち良く生活したい」と言いながら笑顔
で一本一本丁寧に草を抜いていました。
清々しく美しい地域づくりは、心がけ次第、一日善行
で変わっていくのだということを感じつつ、その輪を増
やすことで、田野畑村の麗しき環境となるのではないで
しょうか。
花を植えることも、人にやさしい地域づくりになると
思います。たとえば、家族の好きな花暦を創ってみたり、
四季ごとに家族の好きな花を選び、数年かけて、家族の
大好きな花壇づくりに取り組んでみることも素晴らしい
ことではないでしょうか。
今年の我が家の花壇のテーマは「ピンクの彩り」など、
花を愛する心は生活に潤いと張りが生まれると思います。
そして、子供たちが手作りの図鑑を作って花の品種を
学ぶことも楽しいのではないのでしょうか。
『花笑みの村』は、一人一人の思いを花に込めること、
将基面医師の奥様が愛した田野畑の山桜が春の代に薄紅
の色を添え、その香しき花に人々が集い思いを一つにして
いくこと。それこそが、田野畑にしかできないターシャの庭・
美しい笑顔に出会える村づくりになると思っています。
花笑みの村づくりは、人の思いを大切にするとところか
ら始まるのです。